

平成31年3月19日（火）

高校教育課 教科指導係

担当：天野（内線4646）

県立高校における人体及びその一部の標本の発見について

1 概要：平成31年1月25日（金）、桐生女子高校の家庭科室の戸棚から人の胎児標本と思われるもの5体が発見された。この事案を受け、全ての県立高校等を対象に調査したところ、高崎女子高校から人体の一部と思われるものの標本2つが発見された。

2 経緯：1月25日（金）に、桐生女子高校を約40年前に卒業した女性から学校に電話があり、「自分が在籍していた当時から家庭科室に胎児の標本があったと記憶している。」との情報提供があった。学校の職員が校内を確認したところ、家庭科室の戸棚の中に胎児らしき物体の入ったホルマリン標本5本が発見されたため、翌26日（土）に桐生警察署に届け出た。警察の鑑定で、人の胎児であることが確認され、必要な捜査・調査が実施されたが、経緯や保存状態等から、事件性は極めて薄いと判断された。

1月29日（火）付けで全ての県立高校及び県立中等教育学校に同様の標本がないか調査したところ、高崎女子高校の生物室で人体の一部らしき物体の入った瓶2本が発見されたとの報告があった。同校は、2月6日（水）に高崎警察署に届け出た。警察の鑑定で、人の骨及び腎臓であることが確認され、必要な捜査・調査が実施されたが、経緯や保存状態等から、事件性は極めて薄いと判断された。

両校とも、標本の入手及び保管の経緯等は不明である。

なお、県立前橋女子高校でも頭蓋骨の標本が発見されたが、警察の鑑定で人工物と確認された。また、県立盲学校から、実物人体骨格を教材として所有していると報告があったが、昭和7年の購入教材であり、事件性はない。

3 対応：標本については、人であるか否かの鑑定や、事件性があるか否かを確かめるための解剖、火葬・埋葬の手续などが必要となることから、警察、病院、市役所など多くの関係機関と連携しながら、一連の手续を一つ一つ済ませながら進めているところである。